

10月26日(土)

8:30~9:50 CTO



コーディネーター  
松野 俊介  
心臓血管研究所付属病院

デバイスやテクニックの進歩とともにCTO PCIの成功率は向上し、CTO PCIは「匠のみが成し得る神業」ではなくなりつつあります。それでは、同じ道具を使い、同じ方法でアプローチすれば、誰でも同じ結果を得られるのでしょうか?当然ながら、そんなはずはありません。CTO病変は、複雑病変の代表格でありながらも、他の非CTO病変とは全くの別物ともいえる病変であり、「何となく」や「行き当たりばったり」が通用しない手強い相手です。その難敵に挑んでいくためには、匠の先生方がさらっと行っているストラテジー構築・デバイス選択とその操作・手技の切り替えなどCTO PCIのひとつひとつの過程の背景に存在するロジックを理解することこそが不可欠であると考えます。

本セッションは、CTO PCIを始めたての先生方、これから始めようとしている先生方を対象として、CTO病変に挑む上で最低限頭に入れておかなければならないことを厳選してお伝えできればと思います企画させて頂きました。経験豊かなオペレーターである講師陣が、ご自分の経験を踏まえてお話し下さるメッセージは、短い時間ながらもCTO PCIのエッセンスに富み、若い先生方にとって必ずや価値あるものになると確信しています。たくさんの方の先生方のご参加をお待ち申し上げております。

座長  
保坂 文駿 岡村記念病院  
角谷 誠 加古川中央市民病院

心臓CTからの情報をCTO-PCIにどう活かすか

長谷川勝之 東宝塚さとう病院

患者・病変背景に応じた治療ストラテジーの構築の仕方

栗田 泰郎 三重大学

CTO-PCIオペレーターが押さえておくべきガイドワイヤー知識

景山 倫也 那須赤十字病院

アンテグレードアプローチ①

基本的ガイドワイヤー操作法からパラレルワイヤリング

嘉納 寛人 心臓血管研究所付属病院

アンテグレードアプローチ②

IVUSガイドリワイヤリング

福原 怜 兵庫県立尼崎総合医療センター

レトログレードアプローチ①

レトログレードチャンネルをいかに通過させるか

松尾 浩志 八尾徳洲会総合病院

レトログレードアプローチ②

reverse CART step-by-step

下地 顕一郎 済生会宇都宮病院

レトログレードアプローチ③

reverse CART以外のワイヤー通過法

堤 孝樹 佐賀県医療センター好生館

CTO-PCIの合併症とその対処

藤田 雅樹 江戸川病院

10:10~11:50 Complications



コーディネーター  
栗田 泰郎  
三重大学

PCIはこの30年で目覚ましい発展を遂げています。合併症に対するbail-outの技術向上、知識の蓄積も重要な要素だと思われれます。

PCIの適応病変の複雑化、CTO PCIの普及にて冠動脈穿孔などの合併症は増えているという報告もありますが、致死的な合併症は減少しています。しかし、ひとたび、未経験の大きな合併症を経験すると頭が真っ白になり思考停止することもあるでしょう。そこで迅速かつ、適切に対応できるかが患者様の予後を規定します。一度、見聞きしたことのあるbail-out方法が患者様の命を救うこともあると思います。

今回の合併症のセッションでは、頻度は高くない重篤な合併症から一般的な合併症まで学べるように企画しました。PCIのエキスパートを目指す皆様の診療の一助となれば幸いです。

座長  
藤田 浩志 名古屋市立大学大学院  
栗田 泰郎 三重大学

穿刺部合併症

海老澤聡一郎 信州大学

冠動脈穿孔、冠動脈解離、血種  
(ワイヤー穿孔、バルーンステントによる血管損傷など)

藤本 善英 千葉大学/君津中央病院

デバイススタック

(ワイヤースタック、バルーンスタック、IVUSスタック)

藤田 浩志 名古屋市立大学大学院

ステント脱落(回収)、ワイヤー断裂(回収)

山田寿太郎 山口県済生会下関総合病院

Slow flow/no flow (空気塞栓症なども含む)

栗田 泰郎 三重大学

血栓、抗凝固関連合併症、造影剤アレルギー  
(HIT、アナフィラキシーを含め)

沼澤 洋平 足利赤十字病院



Complex Cardiovascular Therapeutics 2019

CCT 2019

会期 2019年10月24日(木)~26日(土)

会場 神戸国際展示場 1号館 2F Room 9

Fellow Course

CCT Website  
<https://cct.gr.jp/>

Facebook  
<https://www.facebook.com/CCTJAPAN/>

Find us on Facebook



## CCT2019 Fellow Course



CCT2019 Coronary Course Director

那須 賢哉 豊橋ハートセンター

CCT 2019では、今年もFellow course を開催いたします。CTO、分岐部、石灰化病変などの複雑病変の治療のコースに加え、イメージング、Physiology、合併症をテーマとしたコースも開催いたします。適切な病変評価、複雑病変に対する治療におけるTips and tricks、合併症への対応など、冠動脈インターベンションに必要な知識を深める機会になることを期待しております。また、本年からは日英同時通訳も開始されます。海外の若手の先生方の積極的な参加もお待ちしております。

## 10月24日(木)

### 8:30~10:30 Physiology (FFR)



コーディネーター  
蔵満 昭一  
小倉記念病院

座長  
赤阪 隆史 和歌山県立医科大学  
蔵満 昭一 小倉記念病院

#### 冠循環をまず勉強しよう!

赤阪 隆史 和歌山県立医科大学

#### 安静時虚血指標をまとめて理解しよう!

山田慎一郎 北播磨総合医療センター

#### FFR-guided PCIを始めよう!

藤井 健一 関西医科大学

Coronary Physiologyは、冠動脈病変の虚血評価だけでなく、治療戦略や治療効果判定など幅広く活用されるようになり、今やPCIに欠かせないものになっています。最近では、様々な安静時指標が実臨床で使用されるようになり、さらにFFRCT、QFRなど新しい指標も登場するなど、Coronary Physiologyはまさに日進月歩の発展を見せています。しかし、その一方で、Coronary Physiologyの知識を整理することが難しくなっているのも事実かと思えます。本セッションでは、エキスパートの先生方から、冠生理学の基礎から最新トピックスまで学べ、明日からの実臨床ですぐ役立つプログラムを企画しました。若手の先生方だけではなく、Coronary Physiologyを勉強したい皆様に、是非ご参加いただければ幸いです。一緒にCoronary Physiologyを勉強しましょう。

#### iFR-guided PCIの極意を伝授します!

松尾 仁司 岐阜ハートセンター

#### DEFERってどういう意味?

蔵満 昭一 小倉記念病院

#### 将来ワイヤーは不要?:FFRCT, QFR, FFRangio

久保 隆史 和歌山県立医科大学

### 10:30~12:20 Calcified



コーディネーター  
鹿島 由史  
札幌心臓血管クリニック

座長  
鹿島 由史 札幌心臓血管クリニック  
小林 智子 京都桂病院

#### 石灰化病変におけるイメージングデバイス ～IVUS/OCT それぞれの特徴を知る～

藤井 健一 関西医科大学

#### スコアリングバルーンで石灰化病変と戦う ～それぞれの特徴を活かす～

小川 崇之 東京慈恵会医科大学

#### オービタルアテレクトミーで石灰化病変と戦う ～その特性からみた最適病変～

櫻井 将之 おおたかの森病院

#### ローテーションアテレクトミーで石灰化病変と戦う ～その特性を活かした使い方～

鹿島 由史 札幌心臓血管クリニック

#### 石灰化病変におけるDCB のチカラ

～DCB はDES に代わる選択肢になり得るか?～

小林 智子 京都桂病院

## 10月25日(金)

### 8:30~10:20 IVUS/OCT/OFDI



コーディネーター  
武藤 光範  
菊名記念病院

座長  
園田 信成 産業医科大学病院  
新家 俊郎 昭和大学

#### IVUSが得意とする病変、苦手とする病変

園田 信成 産業医科大学病院

#### OCT/OFDIが得意とする病変、苦手とする病変

足利 貴志 武蔵赤十字病院

#### IVUSの情報を生かしたPCI (ACS編)

武藤 光範 菊名記念病院

適切なPCIには、病歴・全身状態・心臓の病態を正確に把握したうえで、CAGをしっかりと読影し冠動脈の病変形態を把握し、予め戦略を構築することが極めて重要です。CAGを補完するモダリティとしてIVUS/OCT/OFDI・CT・FFRなどがあり、事前に把握した病変形態と、PCI施行時に得られる治療前・各治療経過中・最終のIVUS/OCT/OFDIの情報を合わせることで、より良いPCIを行うことが出来ます。また治療中のIVUS/OCT/OFDIの情報をCAGにフィードバックすることで、事前に想定した戦略を修正して合併症を未然に防ぐことが可能となり、さらにこのCAGへのフィードバックが術者の経験値や治療の選択肢を向上させます。

本セッションでは、エキスパートの先生方からIVUS/OCT/OFDIでわかること、わからないこと、それらをどうやってPCIに生かして適切な治療を行うのかを解説して頂きます。皆様の御参加をお待ちしております。

#### OCT/OFDIの情報を生かしたPCI (ACS編)

栗山 根廣 宮崎市医師会病院

#### IVUSの情報を生かしたPCI (非ACS編)

坂田 憲治 金沢大学

#### OCT/OFDIの情報を生かしたPCI(非ACS編)

管家 鉄平 華岡青洲記念心臓血管クリニック

### 10:30~12:20 Bifurcation



コーディネーター  
高木 健督  
大垣市民病院

#### 第一部

座長  
岡村 誉之 山口大学  
村里 嘉信 九州医療センター

#### 分岐部病変の今、そして今後の展望

高木 健督 大垣市民病院

#### 分岐部病変を治療するなら知っておくべき10の論文

夏秋 政浩 佐賀大学医学部

#### Discussion

#### 第二部

座長  
鹿島 由史 札幌心臓血管クリニック  
小堀 裕一 戸田中央総合病院

#### 分岐部におけるwireおよびdouble lumen catheterの使い方

吉田 路加 名古屋第二赤十字病院

#### 分岐部病変の側枝閉塞リスクを検証する

日比 潔 横浜市立大学附属市民総合医療センター

#### JBTsをマスターすればどんな分岐部病変も怖くない

沼澤 洋平 足利赤十字病院

#### KBT、知っているようで知らない正しい方法

山脇 理弘 済生会横浜市東部病院

#### DK-crush vs. Culotteの使い分け: 3DOCT-guideのDouble stenting

名越 良治 大阪府済生会中津病院

#### 高度石灰化を含む分岐病変の治療戦略: Rota/CB/Scoring/OCT/IVUS

道明 武範 小倉記念病院

#### DCAを用いた分岐部治療戦略

羽原 真人 豊橋ハートセンター

#### Bailoutを突き詰める!分岐部合併症

高木 健督 大垣市民病院